

令和元年度 図書館利用者と館長との懇談会 ～利用者からの意見等への回答(概要)～

【対応状況・凡例】

- ◎ すでに対応している項目
- 早急に対応を行う項目
- 施策・事業を実施していく中で取り組むまたは検討する項目
- － 対応が困難な項目

番号	利用者からの意見・要望の概要	図書館の考え方	対応状況
1	蔵書構成について、児童書の基本図書を充実させてほしい。	区の収集方針に則ったうえで、蔵書の見直しと基本図書の積極的な収集を行います。	○
2	レール式の駐輪場が使いにくい。レールに取り付けてレールを動かさないようにする金具があるので、そういった金具の取り付けを検討してはどうか。	利用環境向上のため、金具の取付けを含めた工夫を検討します。	□
3	学校支援員の研修会は、どのような内容の研修をしているのか。	ブックトークやレファレンス、本の修理などの現場で必要とされる業務の研修を毎年実施しています。	◎
4	図書館が提案するソーシャル・イノベーションとして、どのようなことを行っていきたいか。	高齢化が進む社会において、地域のコミュニティ拠点として、シニア世代が参加し、積極的に地域とつながり活躍できる場を提供していきたいと考えています。	□
5	子育て世代の図書館離れを感じている。子どもたちを未来の図書館利用者として育てるためにも、まずは親世代に「読書は楽しい」と思ってもらえるようなイベントを定期的で開催してはどうか。	貴重なご意見として、今後の事業計画の参考にさせていただきます。未来の図書館利用者として子どもたちを育ていくとともに、生涯にわたって図書館を利用していただけるよう、幅広い年代を対象にした行事・展示を考えてまいります。	□